

めだかの学校

代表者 矢野北斗 (経済B 2年)
構成員 倉重直樹 (経済B 3年) 前田亮司 (教育B 2年) 高木茜 (教育B 4年)
江川由莉絵 (人文B 4年) 岩武恵理子 (人文B 4年)
古瀬光章 (理学B 4年) 佐野誠 (理学B 4年)
久本綾子 (教育B 4年) 柳海里 (工学B 4年)
加藤菜実 (医学B 4年) 山根拓也 (経済B 2年)
佐藤颯音 (農学B 2年) 高橋良嘉 (農学B 2年)
宮木啓太 (医学B 2年) 高橋勇貴 (理学B 2年)

1. 活動目標

「めだかの学校」は、主にこの平川地区を中心に、地域密着型のボランティアサークルとして日々活動しています。地域の方々の主催する行事のお手伝いをさせていただいたり、自分たちで子供たちを集めてイベントを開いたりしています。そういった活動を通して地域との交流を深め、大学との懸け橋となる事を一つの到達点として考えています。

2. 活動内容

・子供イベント

12月17日に平川地域交流センターの一室をお借りして、子供達と一緒にクリスマスツリーとカードを製作しました。ツリーは、事前に用意しておいた松ぼっくりに緑色のスプレーで塗装し、さらにビーズや綿などの装飾品で飾り付けました。子供たちは皆各々の発想で綺麗なツリーに仕上げていました。また、カードは子供たちが描いた絵が飛び出す仕掛けになっており、面白いものに仕上がりました。



熱血！サンタ指導！

・アートふる山口

11月5・6日に大内御堀で開かれ、毎年多くの来場者のあるイベントで、「めだかの学校」は、そこに「こいしにお絵描き」、「ホットボンド工作」、「地面に落書き」という3つのブースを出しました。「こいしにお絵描き」は、ポスターカラーで小石に絵を描くものですが、子供たちの豊かな発想と、石の形を活かしたユニークな作品が出来上がりました。「ホットボンド工作」は、木の枝やどんぐりなど自然の物をホットボンドで繋ぎ合せ、小さな木の家や椅子などの可愛い作品が幾つも生まれました。「地面に落書き」は、生憎の雨で行うことが出来ませんでした。雨のお陰で来場者は例年よりも少なかったのですが、その分一人一人に対する接客の時間が多くとれ、結果利用して下さった全ての方々に満足してもらえたのは良かったと思います。



ナイスアシスト！

・チャレンジ教室

民生委員会の方々が主催しているイベントで、毎年7回ほど行われます。子供たちに平川地域交流センターへ集ってもらい、外に出て川で魚釣りをしたり、外部から講師を招いて教室を開いて頂いたりします。「めだかの学校」はその運営のアシストに回りました。子供たちが気持ちよく取り組めるよう、毎回活動の後の反省会にも参加し、今後行われる活動の充実の一助になればと考えています。

・平川まつり

11月20日に平川小学校で開催されました。「めだかの学校」は「シャボン玉作り」のブースを出しました。あらかじめ針金を、大小様々な円形に曲げたものを幾つか用意しました。ブースの性質上子供がよく集まり、大きなシャボン玉を作ろうと奮戦している姿はとても微笑ましかったです。大量に用意しておいたシャボン玉液も祭りが終わる頃には殆ど無くなってしまい、思いの外好評でした。

3. 活動の反省

私たち「めだかの学校」は、地域と大学の懸け橋となれるように活動してきました。その役割を果たす為に必要なことは何かということを考えてみると、やはり「継続」というワードが浮かび上がってきました。「めだかの学校」は長い歴史を持つサークルであり、それは大学外の、地域の様々な団体との交流の歴史です。毎年参加する恒例の行事も多々あり、信頼もいただいています。そしてこれは大学生の信頼にも繋がっていると考えています。「めだかの学校」がやるべきことは、長年の交流によって生まれたこの地域との絆を大切に、それを絶やさない為に、今後も高い目的意識を持って活動を継続していくことだと思えます。